

令和3年度の取組実績

福井県管理河川 嶺北ブロック減災対策協議会
嶺南ブロック減災対策協議会

令和4年6月6日

県協議会の取組実績(令和3年度実績)

県協議会の取組のうち、令和3年度は37項目のうち、25項目を実施しました

項目 事項 具体的な取組	取組内容(取組主体)	目標年度	R3年度実績
(1) 円滑かつ迅速な避難のための取り組み ○:R3年度に実施			
①情報伝達、避難計画に関する事項			
a. 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等	a 1 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成(市町)	H29	H29完了
	a 2 ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成(市町)	H29~R3	未達成
	a 3 タイムラインの検証と改善(更新)(市町)	H30~R3	○
	a 4 関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの作成(市町)	R3	未作成
	a 5 タイムラインの作成支援(県)	H29~R3	○
b. 避難行動のための情報発信等	b 1 防災行政無線の活用推進のための検討・促進(市町)	H29~R2	○
	b 2 防災メール、SNSの利用登録促進(市町)	H29~R3	○
	b 3 雨量、河川水位、河川監視カメラ映像などの情報を提供(配信)および住民利用促進のための周知・啓発(国・県)	H29~R3	○
	b 4 氾濫の危険性や切迫度がより伝わるよう洪水予報文の改良と運用(国・気象)	H29~R3	○
	b 5 洪水危険度分布および予測値の利活用促進(気象台)	H29~R3	○
	b 6 災害発生のおそれがある場合の首長とのホットラインによる国、県と市町の情報共有(全体)	H29~R3	○
	b 7 洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実(県)	R2	○
	b 8 要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援(県・市町)	H29~R3	○
②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項			
c. ハザードマップの作成・周知等	c 1 想定最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図等の作成(県)	H29~R1	R2完了
	c 2 洪水予報河川および水位周知河川以外の県管理河川の水害リスク図の作成(県)	H29~R2	R2完了
	c 3 想定最大規模の降雨を対象としたハザードマップへの更新・周知(市町)	H29~R3	R3完了
	c 4 浸水実績等の周知(市町)	H29~R3	○
	c 5 市町を超えた広域避難計画の検討(市町)	R3	未達成

県協議会の取組実績(令和3年度実績)

県協議会の取組のうち、令和3年度は37項目のうち、25項目を実施しました

項目		取組内容(取組主体)	目標年度	R3年度実績
事項				
具体的な取組				
d. 防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充	d 1	小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展の実施(全体)	H29~R3	○
	d 2	高齢者の避難行動の理解促進のため、地域域包括支援センター・ケアマネジャー等と連携(全体)	R1~R3	○
	d 3	出水に対するダムや河川改修の効果の情報提供(国・県)	H29~R3	○
③円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項				
e. 避難行動、水防活動に資する施設等の整備	e 1	早期の避難勧告等の発令判断や水防活動を支援するため、水位計・量水標、河川監視カメラ設置の検討と情報共有(県)	H29~R3	○
	e 2	水位周知河川等の見直し(県)	R2	R2完了
	e 3	氾濫危険水位等の基準水位の見直し(県)	H29~R3	○
f. 洪水を安全に流す対策	f 1	河川改修の推進(県)	H29~R3	○
	f 2	浚渫、伐木(県)	H29~R3	○
g. 危機管理型ハード対策(堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばすための工夫)	g 1	堤防強化(県)	H29~R3	○
④既存施設の有効活用に関する事項				
h. ダムの洪水調節機能の強化	h 1	利水者との調整等により事前放流を実施(県)	R2~R3	○
(2) 的確な水防活動のための取り組み				
①水防活動の効率化および水防体制強化に関する事項				
i. 水防活動支援のための情報共有	i 1	重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施(市町)	H30~R3	○
j. 水防体制の強化	j 1	水防資機材の備蓄等の確認(市町)	H29~R3	○
	j 2	水防団員や消防団員の募集の強化(全体)	H29~R3	○
	j 3	自主防災組織の活用・強化(全体)	H29~R3	○
	j 4	水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認(タイムラインの活用も検討)(国・県・市町)	H30~R3	○
②市町庁舎等の自衛水防の推進に関する事項				
k. 洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実	k 1	庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策(市町)	H29~R3	○
(3) 一刻も早い復旧のための取り組み				
l. 排水活動等の強化	l 1	排水ポンプ車等を用いた排水訓練の実施(県)	H29~R3	○
m. 災害復旧に対する支援の強化	m 1	福井県災害復旧アドバイザー派遣制度の活用・支援(市町)	H29~R3	
	m 2	大規模災害発生時に緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の活用(市町)	H29~R3	

b. 避難行動のための情報発信等

- b8 要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練の促進支援
計画作成義務のある法指定河川について、令和3年度末100%を目標とし、県が講習会等を実施し、支援を行った結果、概ね100%を達成することができました。

令和3年度計画作成状況

(R4.3末に区域内に存在する施設)

	施設数	計画作成数	計画作成率
令和2年度末	1,441	900	62.5%
令和3年度末	1,558	1,555	99.8%



令和3年度 講習会開催状況(越前市)

b. 避難行動のための情報発信等 (要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練の促進支援)

b8 要配慮者利用施設避難確保計画に基づき、避難訓練を実施しました。

要配慮者利用施設の避難訓練実施状況



村岡小学校(勝山市)
R3.11.19



つぐみ福祉会若狭事業所(若狭町)
R3.11.15



小規模多機能ホームひだまり(おおい町)
R3.10.21



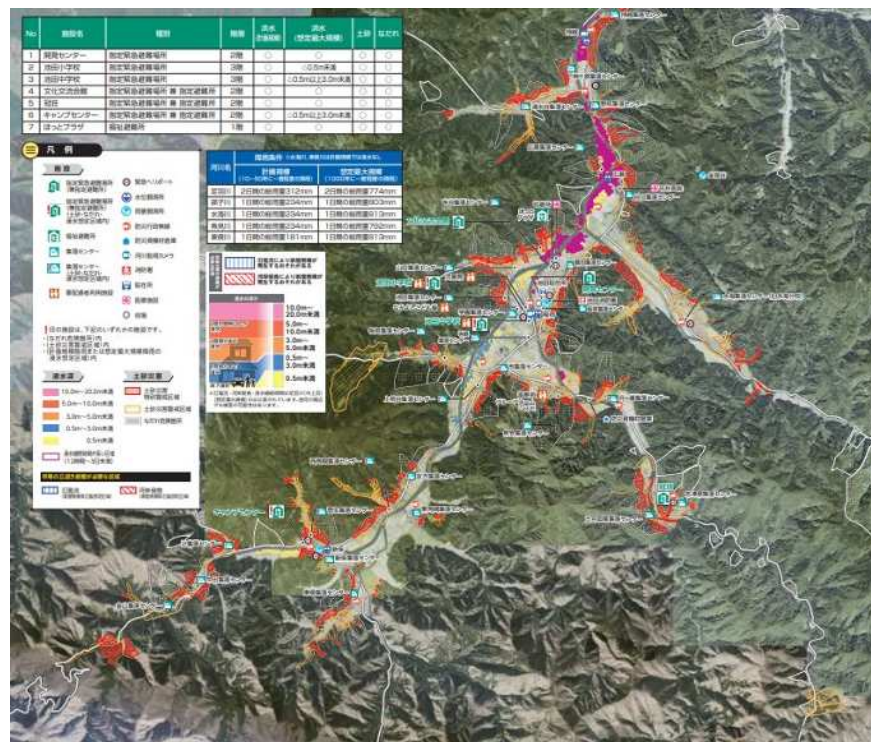
特別養護老人ホーム 高浜けいあいの里(高浜町)
R3.9

c. ハザードマップの作成・周知等

c3 県管理河川の洪水浸水想定区域の公表を受け、全市町が想定最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップを作成しました。

ハザードマップ作成状況(法指定河川とその他河川を含む)

	令和2年度	令和3年度
作成完了	13市町	4市町



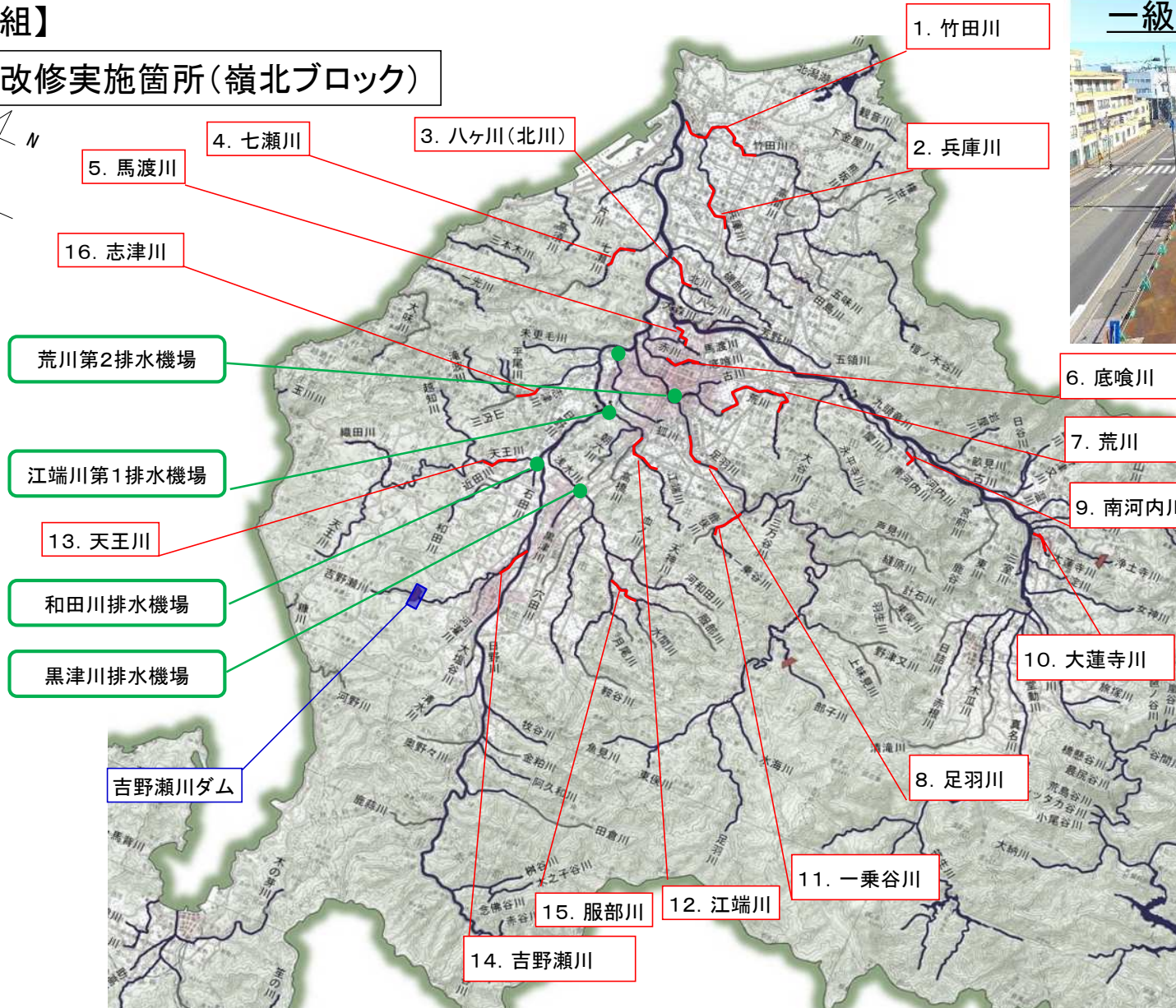
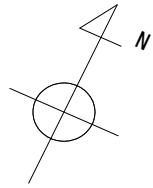
池田町洪水ハザードマップ
(想定最大規模洪水) ※池田町HPより

f. 洪水を河川内で安全に流す対策

f1 令和3年度は、嶺北ブロックでは16河川の河川改修と吉野瀬川ダムの建設、排水機場の老朽化対策等を実施しました。

【県取組】

河川改修実施箇所(嶺北ブロック)

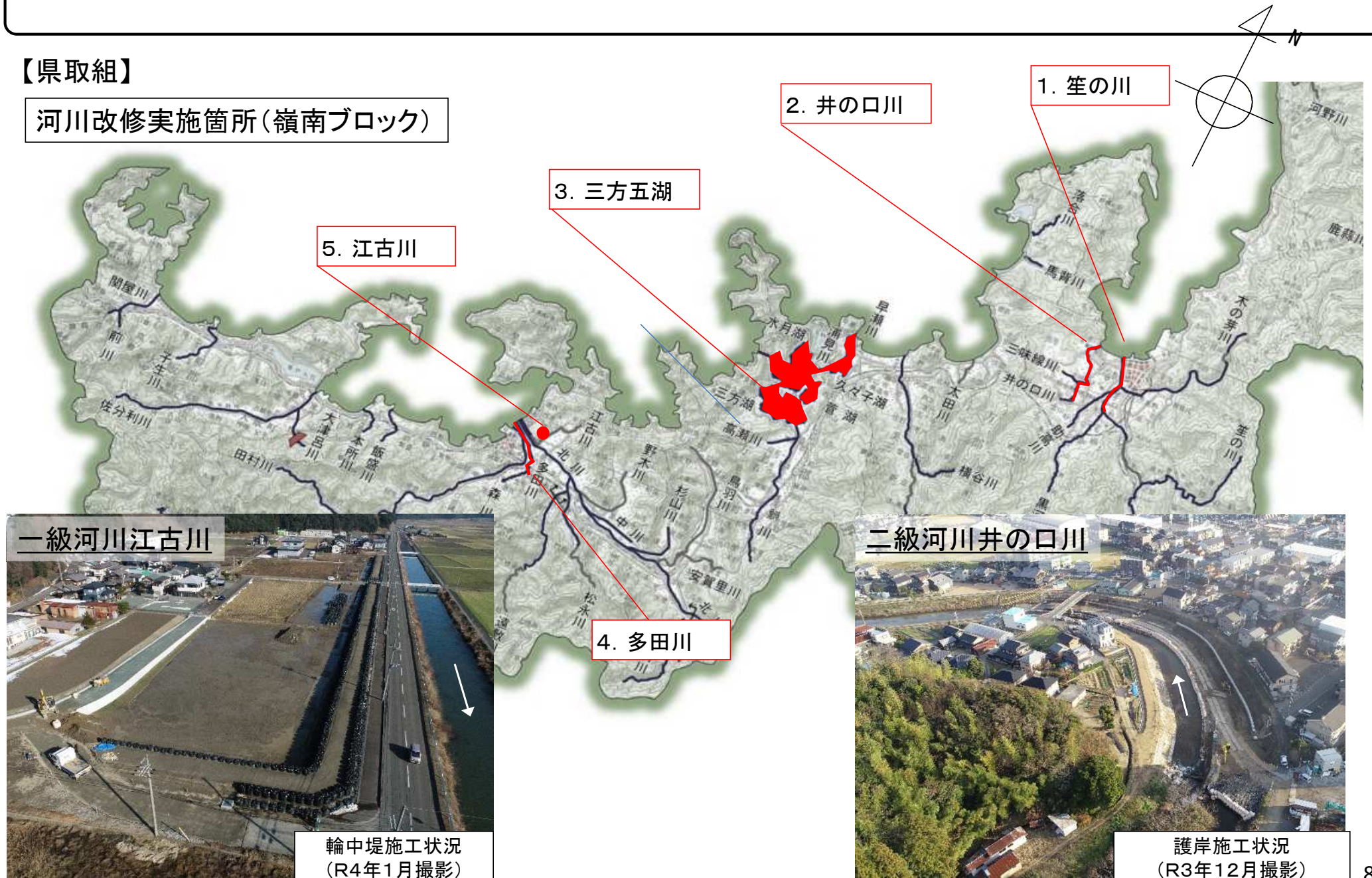


f. 洪水を河川内で安全に流す対策

f1 令和3年度は、嶺南ブロックでは5河川の河川改修等を実施しました。

【県取組】

河川改修実施箇所(嶺南ブロック)



一級河川江古川

輪中堤施工状況
(R4年1月撮影)

二級河川井の口川

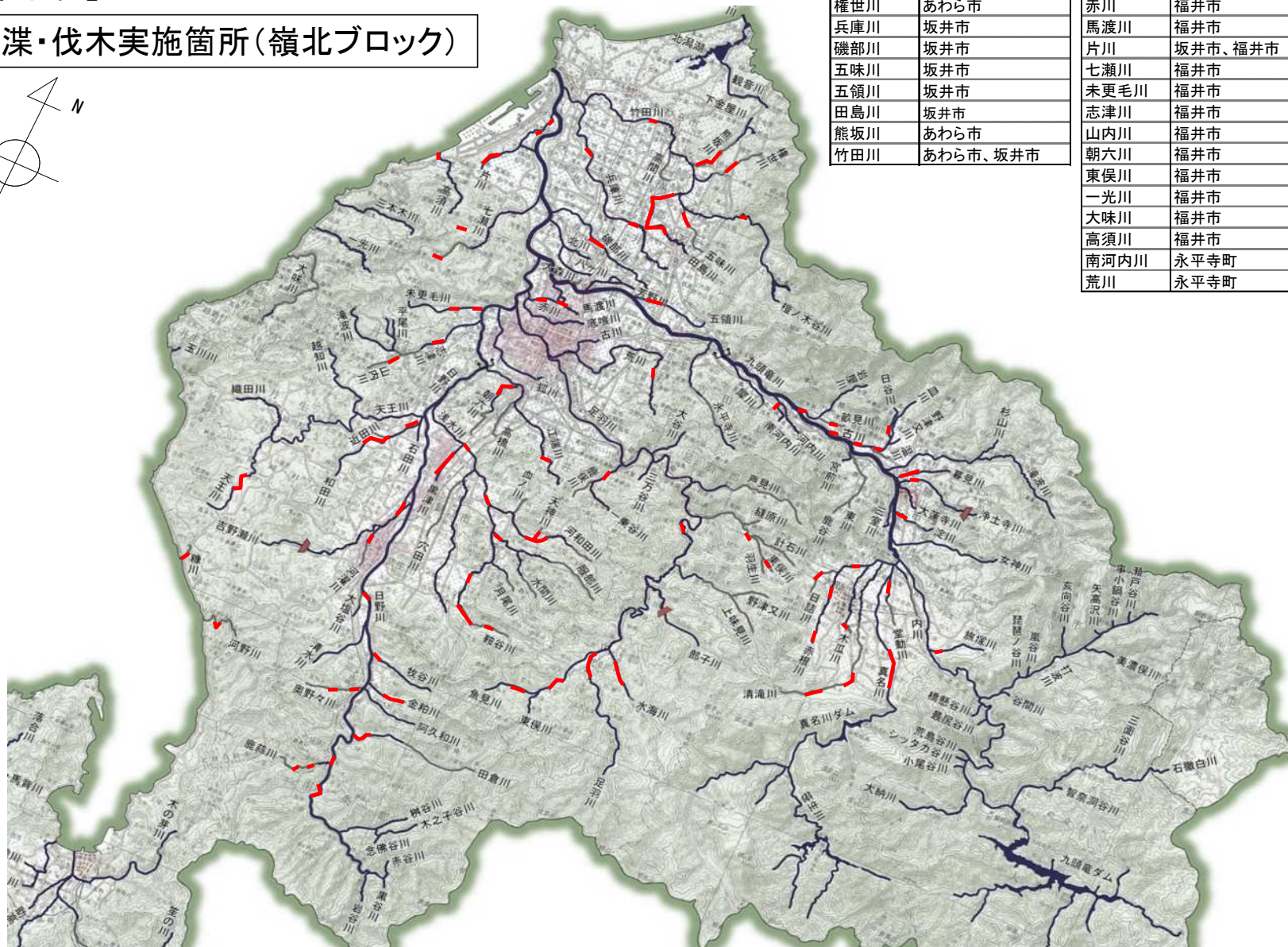
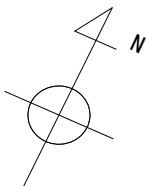
護岸施工状況
(R3年12月撮影)

f. 洪水を河川内で安全に流す対策

f2 令和3年度は、嶺北ブロックでは58河川の浚渫・伐木等を実施しました。

【県取組】

浚渫・伐木実施箇所(嶺北ブロック)



三国土木事務所管内

権世川	あわら市
兵庫川	坂井市
磯部川	坂井市
五味川	坂井市
五領川	坂井市
田島川	坂井市
熊坂川	あわら市
竹田川	あわら市、坂井市

福井土木事務所管内

赤川	福井市
馬渡川	福井市
片川	坂井市、福井市
七瀬川	福井市
未更毛川	福井市
志津川	福井市
山内川	福井市
朝六川	福井市
東俣川	福井市
一光川	福井市
大味川	福井市
高須川	福井市
南河内川	永平寺町
荒川	永平寺町

奥越土木事務所管内

真名川	大野市
赤根川	大野市
清滝川	大野市
日詰川	大野市
堂動川	大野市
木瓜川	大野市
旅塚川	大野市
岩屋川	勝山市
暮見川	勝山市
日谷川	勝山市
淀川	勝山市
浄土寺川	勝山市
皿川	勝山市
古川	勝山市
歎見川	勝山市

丹南土木事務所管内

浅水川	鯖江市
黒津川	鯖江市
河和田川	鯖江市
天神川	鯖江市
河濯川	越前市
天王川	越前市
服部川	越前市
鞍谷川	鯖江市、越前市
吉野瀬川	越前市
日野川	越前市、南越前町
和田川	越前町
近田川	越前町
田倉川	南越前町
糠川	南越前町
牧谷川	南越前町
奥野々川	南越前町
河野川	南越前町
鹿森川	南越前町
足羽川	池田町
水海川	池田町
魚見川	池田町

f. 洪水を河川内で安全に流す対策

f2 令和3年度は、嶺南ブロックでは15河川の 浚渫、伐木等を実施しました。

【県取組】

浚渫・伐木実施箇所(嶺南ブロック)



小浜土木事務所管内

遠敷川	小浜市
多田川	小浜市
南川	小浜市、おおい町
佐分利川	おおい町
大津呂川	おおい町
関屋川	高浜町

敦賀土木事務所管内

笹の川	敦賀市
木の芽川	敦賀市
助高川	敦賀市
井の口川	敦賀市
三味線川	敦賀市
馬背川	美浜町
耳川	美浜町
太田川	美浜町
鱒川	若狭町

e. 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

e1 迅速な住民避難につながる情報の充実を図るため、河川監視カメラを17箇所増設しました。(国6箇所、県11箇所)

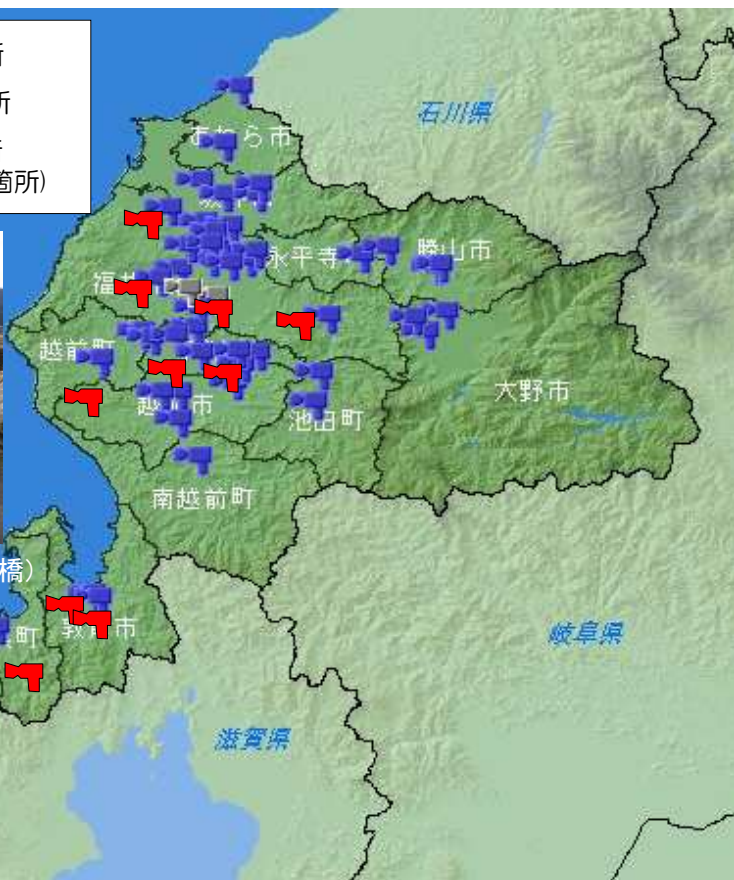
- 国の河川監視カメラを 6 箇所追加
- 県の河川監視カメラを 11 箇所追加

(県内の国・県・町の河川監視カメラ合計109⇒126箇所)

河川監視カメラ(従来型) : 71箇所
 河川監視カメラ(簡易型) : 55箇所
 合計 : 126箇所
 (国:58箇所、県:67箇所、町:1箇所)



一乗谷川 福井市西新町(上城戸橋)



※ 県管理カメラのみ表示

国の河川監視カメラ追加設置一覧

番号	観測所名	河川名	所在地	観測者名	備考
1	布施田水位観測所	九頭竜川	福井市布施田町	福井河川国道事務所	
2	三国水位観測所	九頭竜川	坂井市三国町新保	福井河川国道事務所	
3	足羽川合流点	日野川	福井市三郎丸地先	福井河川国道事務所	
4	産地川排水樋門	日野川	福井市三ツ屋町	福井河川国道事務所	
5	小浜市高塚	北川	小浜市高塚	福井河川国道事務所	※
6	高塚水位観測所	北川	小浜市高塚	福井河川国道事務所	

県の河川監視カメラ追加設置一覧

番号	観測所名	河川名	所在地	観測者名	備考
1	桃垂橋	江端川	福井市徳光町	福井土木	※
2	荒谷	七瀬川	福井市荒谷町	福井土木	※
3	官前橋	志津川	福井市大森町	福井土木	※
4	上城戸橋	一乗谷川	福井市西新町	福井土木	※
5	桜橋	吉野瀬川	越前市北府4丁目	丹南土木	※
6	山室	月尾川	越前市山室町	丹南土木	※
7	二階堂	天王川	越前市二階堂	丹南土木	※
8	古田刈	釜の川	敦賀市古田刈	敦賀土木	※
9	樋ノ詰橋	井の口川	敦賀市筋生野	敦賀土木	※
10	新庄	耳川	三方郡美浜町新庄	敦賀土木	※
11	上田	田村川	小浜市上田	小浜土木	※

※河川監視カメラ(簡易型)

河川監視カメラ(簡易型)とは、機能を限定した低コストの河川監視カメラ(首振り、ズーム、動画、夜間の赤外線等の機能なし)

b. 避難行動のための情報発信等

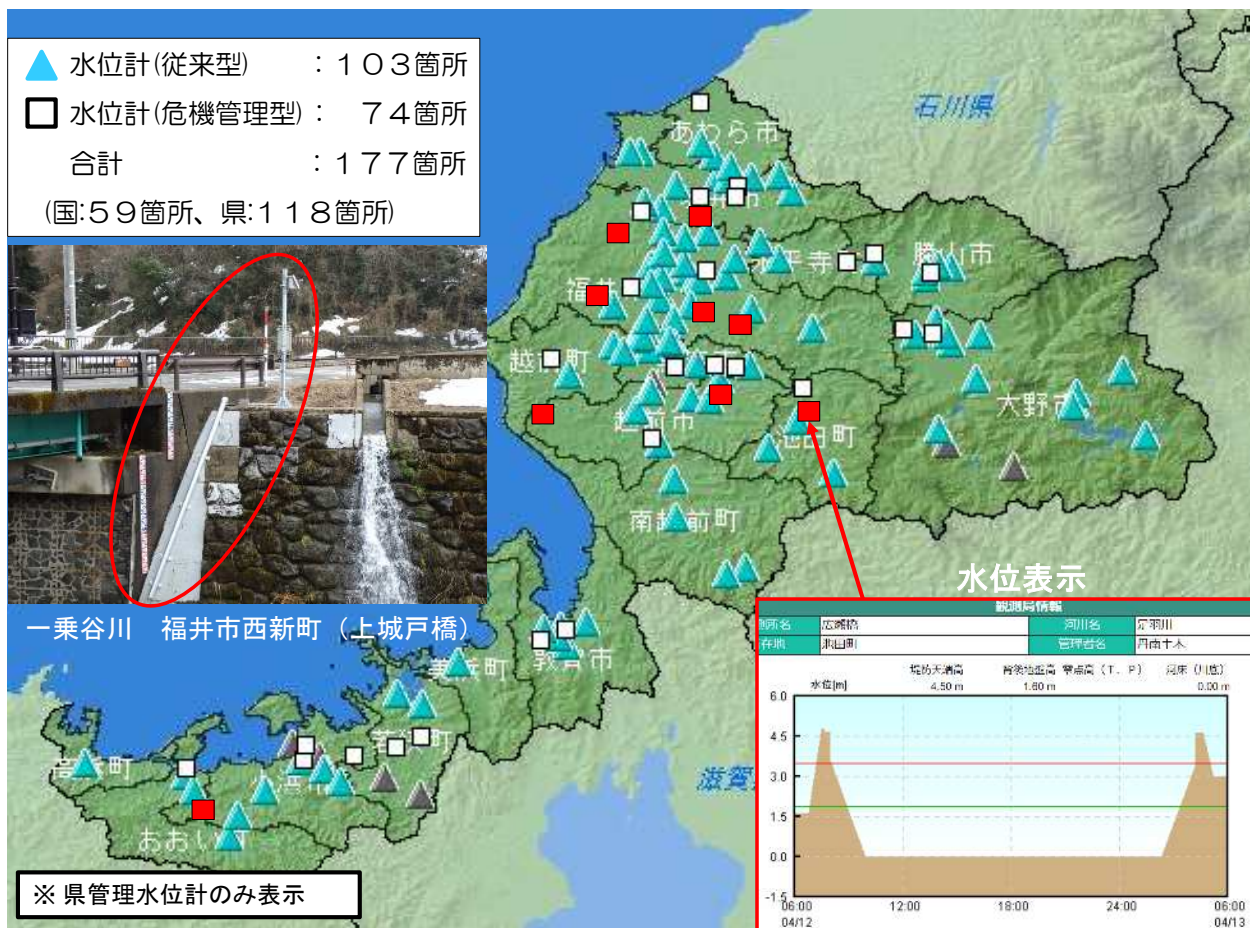
e. 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

b3 河川水位の情報を提供(配信)

迅速な住民避難につながる情報の充実を図るため、水位計を9箇所増設しました。

➤ 県の水位計(危機管理型)を 9 箇所追加

(県内の国・県の水位計合計 168 ⇒ 177 箇所)



県の水位計(危機管理型)追加設置一覧

番号	観測所名	河川名	所在地	観測者名
1	桃垂橋	江端川	福井市徳光町	福井土木
2	荒谷	七瀬川	福井市荒谷町	福井土木
3	上城戸橋	一乗谷川	福井市西新町	福井土木
4	宮前橋	志津川	福井市大森町	福井土木
5	正蓮花	磯部川	坂井市春江町正蓮花	三国土木
6	広瀬橋	足羽川	今立郡池田町谷口	丹南土木
7	山室	月尾川	越前市山室町	丹南土木
8	二階堂	天王川	越前市二階堂町	丹南土木
9	上田	田村川	小浜市上田	小浜土木

水位計(危機管理型)とは、洪水時のみの水位観測に特化した小型で低コストの水位計

R3 市町の取組 事例紹介

j3 自主防災組織の活用・強化

小浜市防災士の会を設立し、講演会等を実施。地域の防災力の向上を図りました。



防災講演会の開催



防災キャンプでの講和

R2. 8 . 1 小浜市防災士の会を設立

R3年度末会員数 62人

令和3年度活動実績

	内 容
R3. 6	総会(書面決議)
R3. 11	勉強会の開催
R4. 3	防災キャンプへの参加
R4. 3	防災講演会の開催

d. 防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

勝山市

d1 小中学校や地域住民への防災に関する出前講座の開催

小中学校においても総合学習や避難訓練時、公民館学級等に防災講座を実施
また、地区の消防訓練時や地区避難訓練時に防災講座をあわせて実施し、地域住民へ幅広く想定最大規模降雨時の災害リスク等の周知を図った



平泉寺地区かつやまっ子応援ネットワーク防災教室
対 象: 平泉寺小学校児童と保護者
参加者数: 34名
参加機関: 勝山市
自衛隊福井地方協力本部大野地域事務所
日赤奉仕団 平泉寺地区



昭和町3丁目区防災講座
対 象: 昭和町3丁目区民
参加者数: 18名
参加機関: 勝山市
奥越土木事務所

c3 民間施設を活用し、避難場所を確保

地区と民間事業者との協定締結を支援し、避難場所の確保に努めた

・地区と民間事業者との災害時応援協定の締結

地震や洪水等の大規模災害時において、立体駐車場及び店舗の一部を避難場所として地区住民へ提供する協定を中藤島地区自主防災組織連絡協議会、大和田自治会と協同組合福井ショッピングモールとで締結した。

令和3年度は、上記を合わせて計6件の地区と民間事業者との協定締結を支援した。

<令和3年度の協定締結状況(公表可のみ記載)>

・酒生地区自主防災組織連絡協議会
(大一印刷株式会社) R3.5.25締結

・福南団地自治会
(創価学会) R3.7.29締結

・中藤島地区自主防災組織連絡協議会
(協同組合福井ショッピングモール) R3.12.18締結

・大和田自治会
(協同組合福井ショッピングモール) R3.12.18締結



中藤島地区自主防災組織連絡協議会、大和田自治会と協同組合福井ショッピングモールとの協定締結式 R3.12.18

k. 洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実

敦賀市

k1 庁舎受電設備・非常用発電設備等の浸水対策

非常用発電設備を5階に設置し、洪水時の庁舎機能確保の対策を行った

【敦賀市役所 新庁舎】

- ・令和3年11月21日 竣工式
- ・令和4年 1月 4日 供用開始

【消防庁舎との合築】

市庁舎

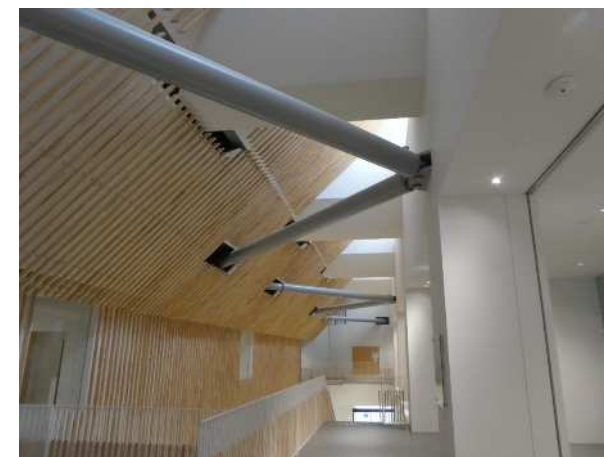
- ・免震構造 [RC造5階建]

消防庁舎

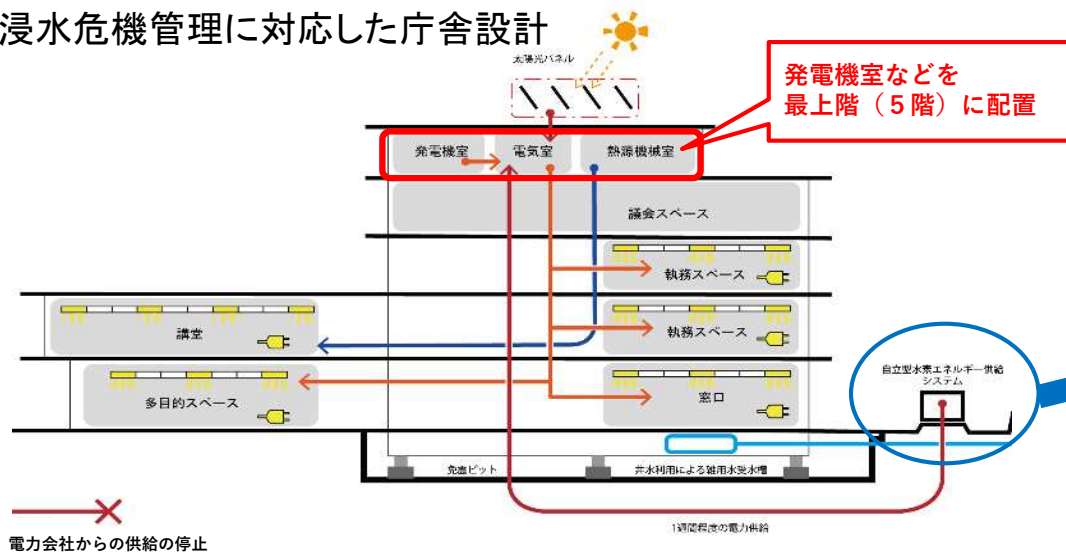
- ・耐震構造 [鉄骨造2階建]



※市庁舎（免震）と消防庁舎（耐震）を制震ダンパーで連結する「連結制震構造」を採用



浸水危機管理に対応した庁舎設計



自立型水素エネルギー供給システム



地域防災マップの作成を希望した市内6地区を対象に作成支援を実施しました。

取り組み事例
(春日三丁目上区自主防災組織)



マップ作成希望地区の代表者を対象に説明会を実施しました。説明会では、マップの必要性や作成に係るスケジュールを説明しました。



住民で集まり、地区内の危険箇所等について、リストアップしました。



住民でリストアップした内容をもとに、実際にまち歩きを行い確認しました。



住民によるリストアップ、まち歩きによる確認事項をまとめてマップを作成しました。

令和4年度は、地域防災マップの普及を目指して作成支援を行います。

d. 防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

j. 水防体制の強化

あわら市

d1 地域住民への出前講習の実施(あわら市消防学校 R3.12.12)

j1 あわら市防災士の会と共催で避難所設営・受入訓練を実施

1時間目 ~講義「北潟地区における防災の脅威と避難所設営について」~



本講習には、市職員、あわら市防災士の会、日赤奉仕団あわら支部、北潟地区の民生委員、北潟地区住民等、あわせて50名以上の方にご参加いただきました。

1時間目の講義では、あわら市防災安全対策室 危機対策専門員が講師となり、会場である北潟地区の災害の脅威や避難所の設営方法について講義を行いました。

2時間目 ~実技「北潟小学校避難所設営について」~



1人から対応する
フレックスゾーン

←生活スペースと
なるブルーシート
の貼り付け



←発熱者スペースの設置

3時間目 ~実技「避難者受け入れ訓練」~



←地元の方に受付を
お願いし、防災士の会
メンバーが避難者役と
なり受け入れ訓練開始



←受付済の避難者を
避難スペースへ誘導

c. ハザードマップの作成・周知等

d. 防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

越前市

- c3 想定最大規模の降雨を想定したハザードマップへの更新・周知
- c4 これまでの浸水箇所への周知
- d1 小中学校や地域住民への防災に関する出前講座やパネル展の実施

●越前市洪水ハザードマップの特徴

- 市民参加によるワークショップを開催
(計6回141名参加)
- 増加する外国人市民への防災意識の啓発
(ポルトガル語など4か国語版の作成)
- バーチャル・リアリティの浸水動画を独自で追加制作
マップや市HP上のQRコードで視聴



多言語版ハザードマップ

●洪水ハザードマップの認知度向上への取組み

- 市民への全戸配布(外国人世帯含む)
- 市政出前講座、地区防災研修会で周知・啓発
- マイ・タイムラインの作成啓発と支援
- 外国人市民防災リーダー研修会の教材で使用
- 小中高生、大学生への防災教育で活用



浸水を想定したVR動画

j3. 訓練・体制強化

坂井市総合防災情報システムを活用した職員の参集・被害状況報告訓練を行いました。

j1. 水防資材備蓄確認

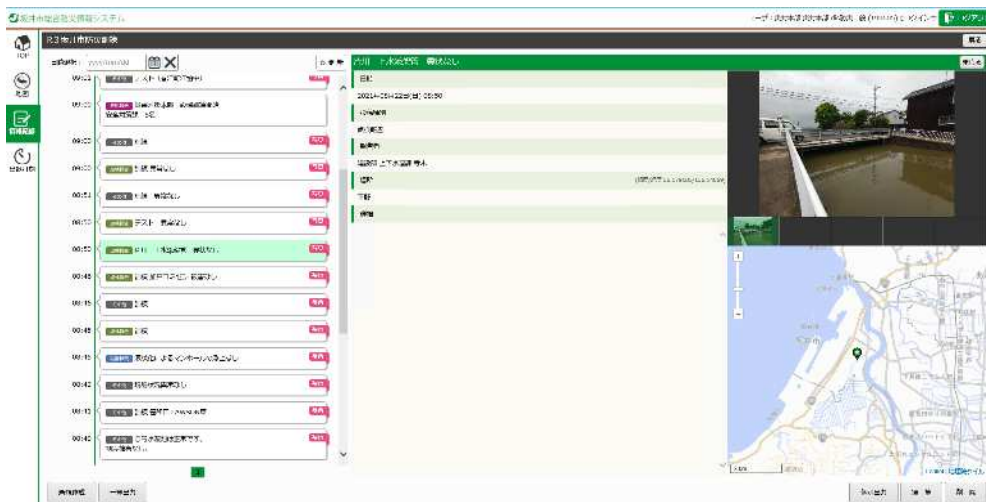
出水期に向けた水防施設・水防資材の備蓄状態と河川パトロール体制の確認を行いました。

(j3) 令和2年度に整備した坂井市総合防災情報システムを活用し、職員の参集・被害状況報告訓練を行いました。
(令和3年8月22日実施)

【主な訓練内容】

- ①システムで職員のスマートフォン等に参集メールを一齐送信
- ②システムで参集の可否を報告
- ③スマートフォン等で周辺の状況を撮影し、システムで報告
- ④システムで参集・解散時刻の報告

※坂井市総合防災情報システムは、庁舎外からモバイル端末等で接続・使用可能なクラウドサービス



(j1) 建設、防災及び消防の職員が水防資材の備蓄状態と河川パトロール体制の確認を行いました。
(令和3年5月24日実施)



b. 要配慮者利用施設における避難訓練の実施

永平寺町

b8 福祉避難所において避難所生活を想定した避難訓練を実施。

【目的】要配慮者が安心・安全に福祉避難所で生活を送ることができること

- ・災害急性期の福祉避難所での1日の生活を知る。
- ・福祉避難所で他者との関わりを通じて避難所の中での助け合いについて知る。

【地域のみんなで助け合う避難訓練】

○参加人数

・要配慮者37名 ・支援者36名 ・福井大学、防災福祉部局19名 合計92名

○訓練内容

福祉避難所での1日の避難所生活を体験する(起床～就寝)

訓練終了後、要配慮者、支援者や各ブースでフィードバックを行い、それぞれの立場からの意見交換を行った。

部屋の名称を「花」の名前としたり、レクリエーションとして物づくりやマッサージを取り入れ、過酷な避難所生活の中にも「癒し」を意識した。

一日のスケジュール		
実際の時間	仮想の時間	行うこと
10:25	7:00	起床
10:30	8:00	朝食・服薬・歯磨き
	8:30	換気・手洗い
	9:00	健康観察
11:00	10:00	ラジオ体操 換気
	12:00	昼食 換気・手洗い
11:30	14:00	レクリエーション 換気・手洗い
	18:00	夕食 換気・手洗い
	20:00	イブニングケア
	21:00	消灯



避難後の生活



健康観察



ラジオ体操



レクリエーション

ご近助防災計画の作成・更新

j3 ①町内全集落において、ご近助防災計画の作成

- ・世帯員名簿の作成
- ・ご近助防災マップの作成



①②によって、要配慮者の可視化が可能。
行政が把握していない、集落の情報も吸い上げが可能。

②民生委員による個別避難計画の作成

- ・現在、努力義務となっている個別避難計画の作成を民生委員に依頼。
- ・①で作成したものと、個別避難計画により実情にあった内容となっている。

世帯員名簿のイメージ

世帯 No. 5 世帯員名簿						
世帯主：池田 太郎 屋号：やくば 住所：池田町稲荷 35-4 世帯員総数：5名						
世帯員氏名	生年月日	性別	緊急時電話番号	支援必要者	備考	
池田 太郎	S20.5.5	男	0778-44-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ()	歩行時に杖を使用	
池田 花子	S25.3.3	女	090-XXXX-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ()		
池田 一郎	S49.7.7	男	090-XXXX-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ()		
池田 冬子	S53.5.15	女	080-XXXX-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ()		
池田 ダカシ	R1.12.25	男	0778-44-XXXX	歩行介助・声かけ その他 ()		

ご近助防災マップのイメージ



①世帯員名簿 + ご近助防災マップ

⇒ご近助防災計画

※区長と防災隊長を中心に毎年更新。

【世帯員名簿】

各世帯情報が掲載されている名簿
→氏名、生年月日、要支援内容 等

【ご近助防災マップ】

世帯員名簿を基にマーキング等された住宅地図
→状況に応じて、色分けをしている。

②民生委員による個別避難計画の作成

- ・地域の実情を知る民生委員が個別避難計画を作成。
→家族の連絡先、ご近所の連絡先、かかりつけ医、普段いる部屋等を記載。
- ・毎年更新を実施。

c3 想定最大規模の降雨を対象としてハザードマップの更新・周知
県管理河川の洪水浸水想定区域の公表を受け、想定最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップに更新を行い、町広報誌及び町のHPで周知を図った

【広報南えちぜん令和4年5月号】

ハザードマップの更新について

令和元・2年度において福井県が新たな基準による浸水想定の見直しを行ったため、それを基に、令和元年にお配りした洪水ハザードマップを更新しました。このマップは、水防法で定められた「想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)」の条件で作成し、およそ1,000年に1回程度起こる降雨条件となっています。



また、県において最大クラスの津波が発生した場合に想定される津波浸水想定図を公表し、この結果を踏まえ、津波が発生した際に、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域の津波災害を防止するため「津波災害警戒区域」の指定を行うこととしたため、「津波ハザードマップ」も更新しました。

更新したハザードマップは南越前町のホームページ

<http://www.town.minamiechizen.lg.jp/bousai/201/p003890.html>

よりダウンロードできます。

ハザードマップにより自宅付近の危険な状況を確認し、必要な避難行動や避難場所、避難経路や非常持ち出し品などを確認しておきましょう。

■問合せ 総務課防災安全室 Tel 0778-47-8016



更新後のハザードマップ
(南越前町HPよりダウンロード可能)



介護予防サポータースキルアップセミナーの場にてハザードマップについて説明(R4.3)

a. 避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

越前町

a1 避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成

令和3年7月29日の大雨の際、避難情報等に着目したタイムラインを活用し、避難情報（避難指示）を発令しました。

【丹生郡越前町 上糸生 地係】

【避難情報等に着目したタイムライン】



判断基準(天王川水位)	情報の種類
はん濫注意水位(3.0m)	高齢者等避難
避難判断水位(3.5m)	避難指示
はん濫危険水位(4.2m)	緊急安全確保

7/29の気象警報等

6:12 大雨(土砂災害)警報

7:19 大雨(浸水害)警報

7:45 土砂災害警戒情報

8:01 洪水警報

8:31 記録的短時間大雨情報

約2時間

土砂災害警戒情報及び記録的短時間大雨情報が発表され、天王川の水位が避難判断水位に達すると見込まれたため、午前8時50分に被害想定区域(3,090世帯、8,901人)に避難指示を発令しました。

j 3 自主防災組織の活用・強化

地域住民が協力して「自分たちのまちは自分たちで守る」の考えのもと、様々な防災・減災活動を行う自主防災組織を推進し、自主防災活動に要する経費の一部を補助する。

【補助対象経費】 防災資機材整備、防災訓練、防災研修、防災リーダー育成等に係る経費。

【補助率】 防災資機材整備 10/10 (上限20万円 世帯数により変動)

防災訓練活動 10/10 (上限5万円 世帯数により変動)

防災研修活動 1/2 (上限5万円)

j 4 水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

出水期を前に、消防団、消防職員、町職員をはじめ、自主防災会も含めた水防訓練を実施した。消防団や町職員の災害時における対応スキル向上は勿論のこと、管内の自主防災会においても自立した防災機能を身に付け、地域に応じた避難行動、救助活動が行えるよう実施した。



令和3年度水防訓練の様子（青郷地区）

d1 防災教室の実施

- ① 町内の各小学校の児童に対し、防災専門員による防災に関する勉強会
- ② 防災資機材(ワンタッチパーテーションと簡易ベッド)の設営及び設置体験

[勉強会の様子]



[防災資機材の設営説明の様子]



[防災資機材の設営体験の様子]



j4 水防訓練の実施による連絡体制の強化確認

消防職員、消防団員、赤十字奉仕団、建設業会、住民、職員による水防訓練を実施し、水防工法の知識及び技術を習得した《R3.6.12 約185名参加》

・台風、集中豪雨、洪水等による被害を軽減し、水災から町民の生命、身体、財産を守ることを目的として、次の各種工法訓練等を行いました。

- ①土のう作成、②積土のう訓練、③改良積土のう工法Ⅱ型、④大型積土のう工法、⑤マンホール噴出防止工法、⑥住宅浸水防止工法、⑦炊き出し訓練、⑧河川監視パトロール訓練、⑨排水ポンプの展示



②積土のう訓練



④大型積土のう訓練



⑤マンホール噴出防止工法



⑥住宅浸水防止工法



⑦炊き出し訓練



⑧河川監視パトロール訓練

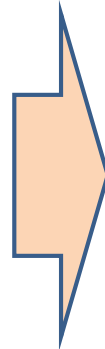
地域における防災マップ作りの推進

鯖江市

地域に住む住民自身が地域の防災情報を共有して、災害時には冷静に素早く避難ができるように備えることが大切であることから、鯖江市では住民が地域における災害リスクを正しく理解し適切に避難するため、地域防災マップの普及を図りました。



想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図(ハザードマップ)を作成(令和3年5月に全戸配布)



市内の防災士で構成する「防災士ネットワークさばえ」の協力のもと推進

- ・地域住民を集めた防災マップ作りの作成手順(全4回)
 - ①地域における防災マップづくりの必要性の事前説明
 - ②危険箇所を全員で考え、地図に反映し「防災マップ」案作成
 - ③「防災マップ」案を使用して現地での検証(まち歩き)
 - ④現地での検証を終えた後の修正を行い完成

令和3年度中に作成した地域

中河地区

片上地区

北中山地区

住吉町3丁目

定次町

小泉町



【ワークショップの風景】



【まち歩きの体験】



【地域防災マップ】

- ・作成完了した地域防災マップは町内全戸に配布し、適切に避難行動ができるよう備える。
- ・市町の努力義務となった個別避難計画作成のための元資料として活用も可能。
- ・市内全町内において地域防災マップの作成を目指す。

R3 水防活動の取組

j. 水防体制の強化

j1 水防資機材の備蓄等の確認

的確な水防活動が実施できるよう出水期前に水防倉庫内の資機材の備蓄状況について点検を行いました。

引き続き、水防資機材等の適切な配備に努めていきます。



点検状況(敦賀市)



点検状況(永平寺町)



点検状況(小浜市)



点検状況(あわら市)

j. 水防体制の強化

j2 水防団員や消防団員の募集の強化

水害から人命や財産を守る水防活動の担い手を確保するため、水防団員や消防団員の募集活動や広報を行いました。



ポスターによる消防団員募集(永平寺町)



ポスターによる消防団員募集(あわら町)

j. 水防体制の強化

j4 水防訓練の実施による連絡体制の強化・確認

関係市町において、消防職員、市町職員、住民による水防訓練を実施し、水防体制の強化を図った



敦賀市水防訓練(R3.6.5 95名参加)